

北のクラフトフェア Northern craft fair MORIOKA 2022

岩手県盛岡市で今年初めて開催されるクラフトフェアです
全国からおよそ100ブース・作品展示販売会
2022年10月8日(土)・9日(日)
会場/岩手公園(盛岡城跡公園) 芝生広場など

トークセッション 10日(月祝)
会場/プラザおでって 3F おでってホール
(岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)

「北のクラフトフェア」とは

岩手公園芝生広場で計画中の「ホホホの森」プロジェクトは、ミナペルホネンと盛岡市が共同で進めています。計画発表から3年を迎えたコロナ禍の中、模索を続けてきましたが、まずはこの場所が目指すコンセプト(クラフトやデザインなど様々な人やとの出会い、交流、発信)を、建物(ハードの部分)を前提ではなく、中身(ソフトの部分)のひたすら「クラフトフェア」から始めてみようということになりました。その思いに賛同した市民有志が実行委員会をつくり、運営しているのが当クラフトフェアです。盛岡市のご協力をいただきながら、イベントを通して公園をよりよい場所とするとともに、良質な工芸と出会う場を新たに創出し、「工芸のまち、盛岡」を発信してまいります。

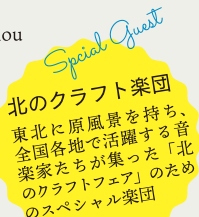
クラフトフェア(クラフト作品の展示販売) ※10日はクラフトの展示販売はございませんのでご注意ください

10月8日[SAT]・9日[SUN]
10:00-16:00 9:00-16:00
最終入場 15:30

会場/岩手公園(盛岡城跡公園) 芝生広場
(岩手県盛岡市内丸1-1-37)

審査によって厳選された全国のクラフト作家たちおよそ100名が、それぞれのブースで自らの作品を展示販売します。暮らしに喜びをもたらすクラフトに触れ、ものづくりの息吹を感じてください。
◎出店作家リストは公式webサイトを参照

- カフェ&お野菜コーナー出店
・ちいさなたね
・小さな農園 イトナミ
・ミズサキノート
・MAU 盛岡アロニア同盟
・Panopano
・Bon Chouchou
・スマレノ
・08coffee
・風光舎
・trefflod



北のクラフト楽団
東北に原風景を持ち、東北各地で活躍する音楽家たちが集った「北のクラフトフェア」のためのスペシャル楽団



9日[SUN]
orbe(田辺玄+haruka nakamura) x Meadow
TOUR 2022「遠い声」 in MORIOKA



photo by TKC

田辺玄と haruka nakamura のユニット「orbe」と、baobabとしても活動する maika によるソロ・プロジェクト「Meadow」。それぞれが2022年春に1stアルバムをリリース。互いのアルバムへ交互に参加しながら作り上げた2つの新作アルバムを携え、この春から、3人の旅「遠い声」TOURが始まりました。このトリオでは初となるツアーで、北のクラフトフェアに出演します。

田辺玄の風のようなギターと haruka nakamuraの光のようなピアノの響きが織りなすデュオからは、浮遊感のあるミナス・ミュージックのコード感や、ビートメーカー nujabesのループ感を感じさせる orbe独自のサウンドが聞こえてきます。巡り会うべくしてつながり、音楽的に響きあふたりが、お互いの才能を引き出し合い、新たな orbe サウンドが生まれました。Meadowの maika のフィドルとヴォーカルは、創造性溢れる草原の風が吹くような心地よいサウンドで、彼女自身の新たな色彩が広がります。

会場: 岩手県公会堂大ホール(岩手県盛岡市内丸11-2)
開場 18:00 / 開演 18:30
チケット発売中 4,500円 / 300席(自由席)



【申込方法】 https://kitanocraft.stores.jp

【QRコード】にお申し込みください。
【ライブ専用お問合せ】
メール live@kitanocraft.com
TEL: 080-5426-0611 (加賀谷真二 / carta)

音響: 福岡剛司 (flysound)
ライブ制作: 加賀谷真二, 加賀谷奈穂美 (carta)
tour制作: 山口響子 (one cushion, Inc)
tour design・artwork: suzuki takahisa (16 Design Institute)

赤レンガ グッドデザインフェア2022

8日・9日 10:00-16:00
会場/岩手銀行赤レンガ館1階大ホール
(盛岡市中ノ橋通1-2-20)



日本で唯一の総合的デザイン評価・推奨の仕組みである「グッドデザイン賞」。これまでの受賞商品や岩手県内の企業によるデザインの展示販売会です。

主催/manordaいわて(株)
協力/(株)岩手銀行(株)クラシカウンスル

協賛イベント

- 出店
・(一社)日本地域色協会/宮古市
・Hayachine Made
・ユキノチカラプロジェクト協議会
・en・nichi
・nekozuki(ねこずき)
・幸呼米 Japan
・ハコショウ食品工業(株)
・iwatemo
・EFRICA
・ファーマンステーション



岩手クラフトツアー もりおかさんぱ

ちょっと足をのびして県内のクラフトを訪ねるショートトリップ。盛岡の中心部に残る昔ながらの工房やセレクトショップ、レトロなまち並みもご案内します。



他にも協賛イベント多数。詳しくは公式サイトをごらんください。



北のクラフトフェア公式webサイト

ホホホの森探検隊

両日 10:00-14:00
参加費/100円
詳細はQRコードから



岩手公園の自然を楽しむ体験型ワークショップです。葉っぱをつかったネイチャーアートなど親子でも楽しめます。
主催/「ホホホの森探検隊」実行委員会
後援/盛岡市・盛岡市教育委員会

北クラキッチン by kibunecoo
コロナ禍に負けるな! 地元飲食店応援企画

8日・9日 11:00-16:30
会場/プラザおでって前広場

地元の美味しいフード&ドリンクが出店。「今の酒きぶね」によるナチュラルワインや、地酒を堪能できるコーナーも特設します。
★二番通リ酒店(北海道小樽市)、もんのすけ農園、赤武酒造も参戦!

- 出店
・海ごはんしまか
・吉浜食堂
・Pullassaggio
・comfort dining DADA
・焼き畑いっく
・東家 ほか



◎会場入口までのアクセスにはバスの利用をお願いします(駐車場はございません)。
・盛岡駅より/岩手県交通 盛岡バスセンター(BC)行、または盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」左回り「県庁・市役所前」下車、徒歩3分
・盛岡バスセンターより/徒歩5分

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出店にはワクチン接種、直前の抗原検査実施を呼びかけています。
◎会場内では手指の消毒、マスク着用を必須とし、飲食時には会場を控えてください。
◎染熱、のどの痛みなど体調に変化を感じた場合は会場をご遠慮ください。
◎岩手県民の皆様には「もしサボいわて」の登録をお願いいたします。

[グッズ購入で北クラを応援しよう!]
ミナペルホネン制作の公式グッズ、イベントチケット販売
https://kitanocraft.stores.jp

主催/北のクラフトフェア実行委員会 info@kitanocraft.com
木村敦子・水野ひろ子(株式会社クラシカウンスル)、加賀谷真二・加賀谷奈穂美(carta)、岩井沢由美子
協力/安部智穂
後援/盛岡市、盛岡市商店街振興組合、岩手日報社、IBC岩手放送、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、テレビ岩手、ラヂオもりおか
協賛/株式会社ミナ、manordaいわて株式会社、岩手県民共済生活協同組合、株式会社NTTファシリティーズ、株式会社カガヤ不動産、東北住建株式会社、有限会社岩井沢工務所、三田農林株式会社、クロステラス盛岡、PanoPano、株式会社川徳、木部一樹、il compleanno(イルコンプレアッノ)、株式会社着町365、株式会社佐々木電機本店、トラベル・リンク株式会社、盛岡ローカルハブ株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社ラヂオもりおか、株式会社ヘラルポニー、atelier meie、合同会社ホームシックデザイン、盛岡信用金庫、東北銀行、北日本銀行、有限会社清水畑建設、Holz Furniture and interior(順不同)

つくる、手渡す、伝える。
様々な立場からクラフトを語り合う
北クラトークセッション。

10月10日[MON・祝日]

プラザおでって 3F おでってホール
(岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)
※開場はそれぞれ開演30分前
チケット各回1000円/150席(自由席)

① 10:30-12:00 「売る楽しさ・繋ぐ喜び」

クラフトフェアは対面販売の楽しみ、大らかさがあって成り立つもの。ものの流通やプロデュースに関わる方々に、愛と冷静の間の立ち位置で、商品の売り方とこれからのものづくりについて語っていただきます。

平山貴士さん
Holz Furniture and interior
1977年生まれ。岩手県宮古市出身。高校時代にインテリアに興味を持ち、東京目黒のインテリアショップで経験を積み、2004年に『Holz/ホルツ』を盛岡市菜園にオープン。東北発の合同展示会『entwine/エントワイン』主催。

日野明子さん
ひとり間屋。1967年神奈川県生まれ。共立女子大学家政学部生活美術学科在学中に教授であった秋岡芳夫氏の影響を受ける。松屋商事(株)(百貨店松屋子会社・1998年に解散)にて北欧テーブルウェアおよび国内クラフト/工芸品の営業を経て、1999年独立、スタジオ木瓜を設立。一人で間屋業を始める。ショップと作家・産地をつなぐ間屋業を中心に、テーブルウェアを主体とした生活に関わる日本の手仕事・地場産業の展示会や企画協力、アドバイスを行う。

F/style 五十嵐恵美さん・星野若菜さん
五十嵐恵美 1978年、星野若菜 1979年、ともに新潟生まれ。東北芸術工科大学を卒業した2001年春、地元新潟にて「エフスタイル」を開設。「製造以外で商品が流通するまでに必要なことはすべてやってみることをモットーに、デザイン提案から販路の開拓まで一貫して請け負う。主な仕事は、山形の月山織造とのコラボレートによるマットシリーズや、新潟の伝統工芸品シナ織りのバッグ等。

② 13:00-14:30 「作家からの言葉」

出展作家へ事前アンケートを実施した結果を元に、創作活動についての思い、悩みや葛藤、今後への期待についてのトークセッション。審査員からのコメントもあるかも!?

水野ひろ子 加賀谷真二
(北のクラフトフェア実行委員)

平林秀幸さん(クラフトフェアまつもと実行委員)
1998年、信州大学文学部卒業後、ほぼ独学でナイフ製作を開始。オーダー製作を中心にパートタイムで活動。2012年頃より長野県内のクラフトイベントに参加。2013年よりクラフトフェアまつもと実行委員。レトロワントゥルプグループ展vol.2(愛知)、くらしづく2021(千葉)、クラフトフェアまつもと2022(長野)、たわのわ2022(千葉)など出展多数。

安倍智穂さん(2019年まで小岩井CRAFT市を主催)
1968年横浜生まれ。自由学園、日本福祉大学卒業後、川島テキスタイルスクールにて染織を学ぶ。1994年頃より岩手県の早池峰のふもと、「たいまぐら」に在住。幼いころから草や虫が大好き。山登りに明け暮れた学生時代に、「たいまぐら」に出会う。桶職人の夫(南部補正 奥畑正宏)と一人娘、猫と自然によりよい暮らしを営む。自らも季節の草木で布を染めるなど手仕事にも深く関わる。

③ 15:30-17:00 「-北の-風土とクラフト」

全国に広がるクラフトフェア。その中で「北のクラフトフェア」を「今」はじめた意味とは? 記念すべき第一回目の開催を総括する、審査員によるディスカッション。

木村敦子
(北のクラフトフェア実行委員)

皆川明さん
デザイナー。1995年にブランド minä perhonen(2003年までは minä) 設立。手作業で描かれた図案から作るオリジナルファブリックによるファッション、インテリア等で注目を集める。ストーリー性のあるデザインと、産地ごとの作り手の個性を活かした、長く愛用されるものづくりを目指す姿勢はブランド設立時から一貫している。個人の活動として、国内外の様々なブランドとデザインを通じての協業を精力的に続ける他、新聞や書籍への挿画、宿のディレクションなど活動は多岐にわたる。

三谷龍二さん
木工デザイナー。陶磁器のような普段使いの木の器を作り、それまで家具中心だった木工に、新たな分野を開く。また、漆では、赤と黒の伝統色に「白漆」を加え、現代の暮らしに合う漆器の世界を作る。他に、日常から拾い上げた親密性の高い絵画や立体作品も制作する。木の器展多数。1985年より「クラフトフェアまつもと」(松本市)発足より運営に参加。「瀬戸内生活工芸祭」「六九クラフトストリート」など、「工芸と暮らしを結ぶ」活動を続ける。2011年、松本市内にギャラリー10cmを開店。

ナガオカケンメイさん
デザイン活動家。1965年北海道生まれ愛知県育ち。ロングライフデザインをテーマに「長く続いている大切なこと」を「デザイン」を通じて紹介、販売する店である「D&DEPARTMENT PROJECT」を2000年に創設。現在は国内8カ所、国外3カ所に展開。2009年、デザイン目録の旅行文化誌『d design travel』発行。2012年より日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」館長。2013年毎日デザイン賞受賞。www.nagaokakemei.com

光原社 川島富三雄さん
宮沢賢治の代表作『注文の多い料理店』を出版し、のちに民藝店となり歴史を重ねてきた「光原社」の初代店主・及川四郎の孫として盛岡市材木町に生まれる。東京造形大学で学び、呉服店での修行を経て仙台市にて「光原社せんだーど」を立ち上げ、2021年より株式会社光原社の代表取締役を務める。柚木沙弥郎を始めとする作家との信頼関係も厚く、全国の民藝店を牽引する存在となっている。





# 北 の クラフトフェア

Northern craft fair

## MORIOKA

### 2022

岩手県盛岡市で今年初めて開催されるクラフトフェアです

全国からおよそ100ブース・作品展示販売会

2022年10月8日(土)・9日(日)

10:00-16:00

9:00-16:00

最終入場 15:00

会場／岩手公園(盛岡城跡公園) 芝生広場など

## トークセッション 10日(月祝)

会場／プラザおでって 3F おでってホール  
チケット各回1000円／150席(自由席)



<https://kitanocraft.com>

主催／北のクラフトフェア実行委員会 木村敦子・水野ひろ子(株式会社クラシカウンスル)、加賀谷真二・加賀谷奈穂美(caria)、岩井沢由美子  
協力／安部智穂

後援／盛岡市、盛岡肴町商店街振興組合、岩手日報社、IBC岩手放送、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、テレビ岩手、ラヂオもりおか

協賛／株式会社ミナ、manordaいわて株式会社、岩手県民共済生活協同組合、株式会社NTTファシリティーズ、株式会社カガヤ不動産、東北住建株式会社、有限会社岩井沢工務所、三田農林株式会社、クロステラス盛岡、PanoPano、株式会社川徳、木部一樹、il compleanno(イルコンプレアノ)、株式会社肴町365、株式会社佐々木電機本店、トラベルリンク株式会社、盛岡ローカルハブ株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社ラヂオもりおか、株式会社ヘラルボニー、atelier meie、合同会社ホームシクデザイン、盛岡信用金庫、東北銀行、北日本銀行、有限会社清水畑建設、Holz Furniture and interior(順不同)

盛岡は長い歴史の中で暮らした工芸が根付き日々の営みの中で生活と工芸の繋がりを大切にしてきました。特に南部鉄瓶、ホームスパン、漆、木工などは東北の自然と繋がりを持ち今日へと続いています。この北の地、盛岡からこれからの物づくりを見つめ日本、そして世界の工芸、クラフトと繋がりを作り手と訪れる人々の暮らしを照らすようなクラフトフェアを開催し継続していきたいと思っています。また音楽イベント、トークイベントなどを企画して作り手と訪れる人、暮らす人との交流も深まるようなものになるよう育てていきたいと考えています。東北の美しい秋の風景と共に良い時間、良い出会いがありますよう皆様をお迎え致します。

北のクラフトフェア実行委員会